

## 2017年度卒業生 克服

2学期中間テストも終わり、秋が来ました。今月は文化祭もあり学校も活気づきます。ただ、この秋の過ごし方いかんで入試の合否が決まると言っても過言ではありません。ここでどこまで苦手科目、苦手分野を克服することができるか、が合格へのカギになるのです。2017年度卒業生、今月はそんな日々きちんと自分の弱い部分に向き合い、見事克服した子の話です。

夏の模試が返ってきた時、彼女は愕然とした。“全く点がとれていない・・・”。第一志望校の基準にはほど遠い偏差値。合格可能性も50%を切っている。こんなはずでは、という思いと、夏の過ごし方への反省、でもそれよりも“やばい、どうしよう”という気持ちがわき上がってぐるぐる回っている。それでも気を取り直して結果をよく見てみると、とてつもなく足を引っ張っているのは国語だとわかった。偏差値が50に届いていない。せっかく数学や理科が偏差値60以上あったとしても、これでは全体としてどうしようもない。

“このままでは合格できない・・・”。現実を突きつけられて、やっとこの時腹が決まった。やるしかない、とにかくまずは国語をなんとかしよう、と。

そこから彼女は毎日早起きをして国語の文章問題に取り組んだ。心がけたのは、早く読むということではなく、丁寧に読むということ。何を言っている文章なのか、きちんと全て受け取るということ。元々が苦手単元ただけに、そんな毎日はとても苦しかった。でも、やると決めたのだからとにかくやり続けた。1ヶ月ちょっと経って受けた秋の模試。彼女の国語の偏差値は55にまで上がった。確実に成果は出ている。第一志望校への合格可能性も77%にまで上がった。もう一歩・・・。その後も彼女は油断することなく淡々と努力を続けた。そして、12月最後の冬の模試。なんと彼女の国語の偏差値は69。得意科目と言っても良いところまで来た。合格可能性も86%。このころ彼女は国語だけでなく、理科も社会も固めにきていた。隅から隅まで何度もやりきったことがわかるマイクリアやアップデートは付箋と書き込みだらけ。そんな努力にはみんな頭が下がった。

入試本番、国語の時間を気にせず解いていて、まさかの時間切れに目の前が真っ暗になったけれど、それまでに培った“丁寧に理解しながら読む”という努力が実を結び、解いた問題はほぼ全て出来ていたというすばらしい結果により見事合格をはたした。

現在彼女は元気に瑞陵高校に通っている。授業の進み方も速く、周りのレベルも高い。ためらいながらの毎日だけれど、なんだって彼女なら克服できる。私は信じて応援している。